

354) 花のごとくに

春を知らない花がある      蕾で終わる花もある  
花の生命はひと時だから      ただひたむきに咲くのです  
いま咲き初めし花ひとつ      明日を夢見て咲いてます  
ああ君は雨に咲く一輪の匂い花  
絵のように艶やかでとこしえに芳しく

人知れず咲く花がある      実を結ばない花もある  
どうせ一度の人生だから      誰にも負けず咲くのです  
いま咲き初めし花ひとつ      心静かに香ります

人を集める花がある      陽翳に散ってく花もある  
この世は人のいとなみだから      人に寄り添い咲くのです  
いま咲き初めし花ひとつ      光の中で揺れてます

誰もがバラになりたがる      誰もが恋に咲きたがる  
女の花はうたかただから      炎のように咲くのです  
いま咲き初めし花ひとつ      愛しき人を待ってます

ああ君は雨に咲く一輪の匂い花  
絵のように艶やかでとこしえに芳しく